

新しい組織が決まりました

就任あいさつ



議長

石田 哲

改選後初めての議長の栄誉を頂きました。

今までの経験を十分に活かし、高島市議会の活性化と市民への説明責任を常に考え、市民負託に応えられる議会運営に努めてまいりたいと存じます。

先の選挙では、現職議員4名が涙を呑み、新人議員7名が当選されました。また現職議員全員が前回の得票数を下回る結果となり、この事実を重く受け止めて、改めて議員の職に邁進しなければならぬと考えています。

新人議員に対する期待度と、現職議員に対する評価の違いが表れ、一方で多種多様な考え方が出てくるだろうと想像し、

非常に難しい議会運営になるかもしれませんが、この課題解決策の第一は、新旧議員の対話と協調であり、お互いを尊重して、共に調査研究を重ね、討論しあう事と考えます。

また、市民目線による意見集約が議長として最も大切な職務であり、皆様の負託に値する議会にならないと痛感しているところです。

合併以来初めて2期連続して同じ市長が信任されました。このことを将来の高島市にとって良い結果に導く、市政運営と議会運営が求められています。

市民皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



副議長

青谷 章

市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、市議会に対しまして格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、議員各位のご推挙を賜り、副議長に就任させていただきました。身に余る光栄であると同時に、職責の重さを痛感いたしております。議長を支え、公正で円滑な議会運営に全力で努めてまいります。

高島市が合併して13年目を迎えます。市では、最も大きな課題である少子高齢化と人口減少に向けて、現在、「高島市まち・ひと・しごと創生

総合戦略」を中心に施策を進めています。若い方々が「住みたくなる」「住んで良かった」と思えるまちづくりをしつかりと進めていくことが大変重要です。そのためにも、議会として、議論を深め、政策提案や政策立案をしていかなければなりません。

高島市の発展と市民福祉の向上、安全で安心な市民生活のために、市民の皆様のお声に耳を傾け、信頼される議会を目指し、全力で取り組んでまいります。

今後とも、市民の皆様のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。